

議案 2

病院の移転計画概要

令和3年1月29日

医療法人 行堂会

長野病院

長野病院の移転（建て替え）について

長野病院は、総社市に位置しており、岡山県南西部保健医療圏に属しています。県南西部保健医療圏では、慢性期病床などが過剰である一方で、回復期病床が不足しているとされています。

また、総社市では、回復後の市外病院から市内医療機関への転院が約40%に留まるとともに、救急搬送の約70%を市外に頼っており、市内に不足する回復期リハビリ機能、地域連携室、緩和ケア病棟などの機能、2次救急機能を持った、救急と在宅とを繋ぐ拠点病院が必要とされています。（総社市医療費適正化推進委員会の意見書（平成30年3月）より）

さらに、総社市総合計画後期基本計画の市民アンケートの「住み続けるにあたって必要なこと」や「将来望ましいまちのあり方」の第1位が、医療・福祉の充実であり、市民の医療・福祉への関心や要望の高さが窺える状況にあります。

当院が、次のとおり建て替えをし、慢性期病床の一部において地域包括ケア病床や2次救急の機能を担うことにより、県南西部保健医療圏の地域医療構想の実現に寄与するとともに、市民が地域で安心して末永く暮らしていける医療体制の推進に寄与するものと考えています。

○ 住所

（現在） 総社市総社二丁目22-43

（移転後） 総社市金井戸（151-1外）地内

○ 建築概要

（現在） 敷地面積 2,279 m²、建築面積 1,226 m²、延床面積 3,414 m²

（移転後） 敷地面積 24,471 m²、建築面積 2,473 m²、延床面積 7,000 m²

○ 病床

（現在） 慢性期（療養）病床 86床

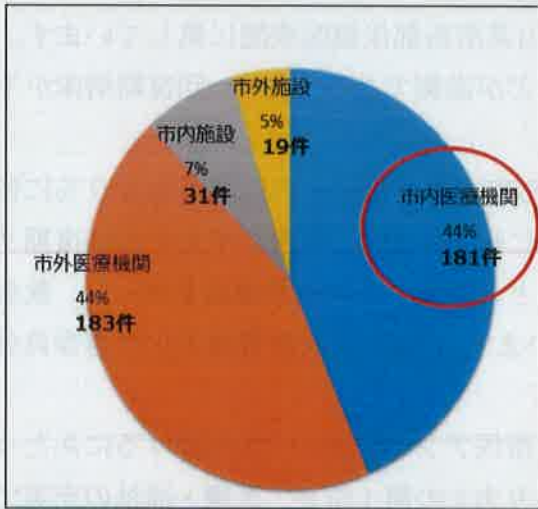
（移転後） 地域包括ケア病床 26床、慢性期（療養）病床 60床

○ スケジュール

着工予定 2022（令和4）年3月

竣工予定 2023（令和5）年3月

○市外病院からの転院・入所先（平成 27 年）



○救急搬送先（平成 28 年）



※出典：総社市医療費適正化委員会意見書（平成 30 年 3 月）

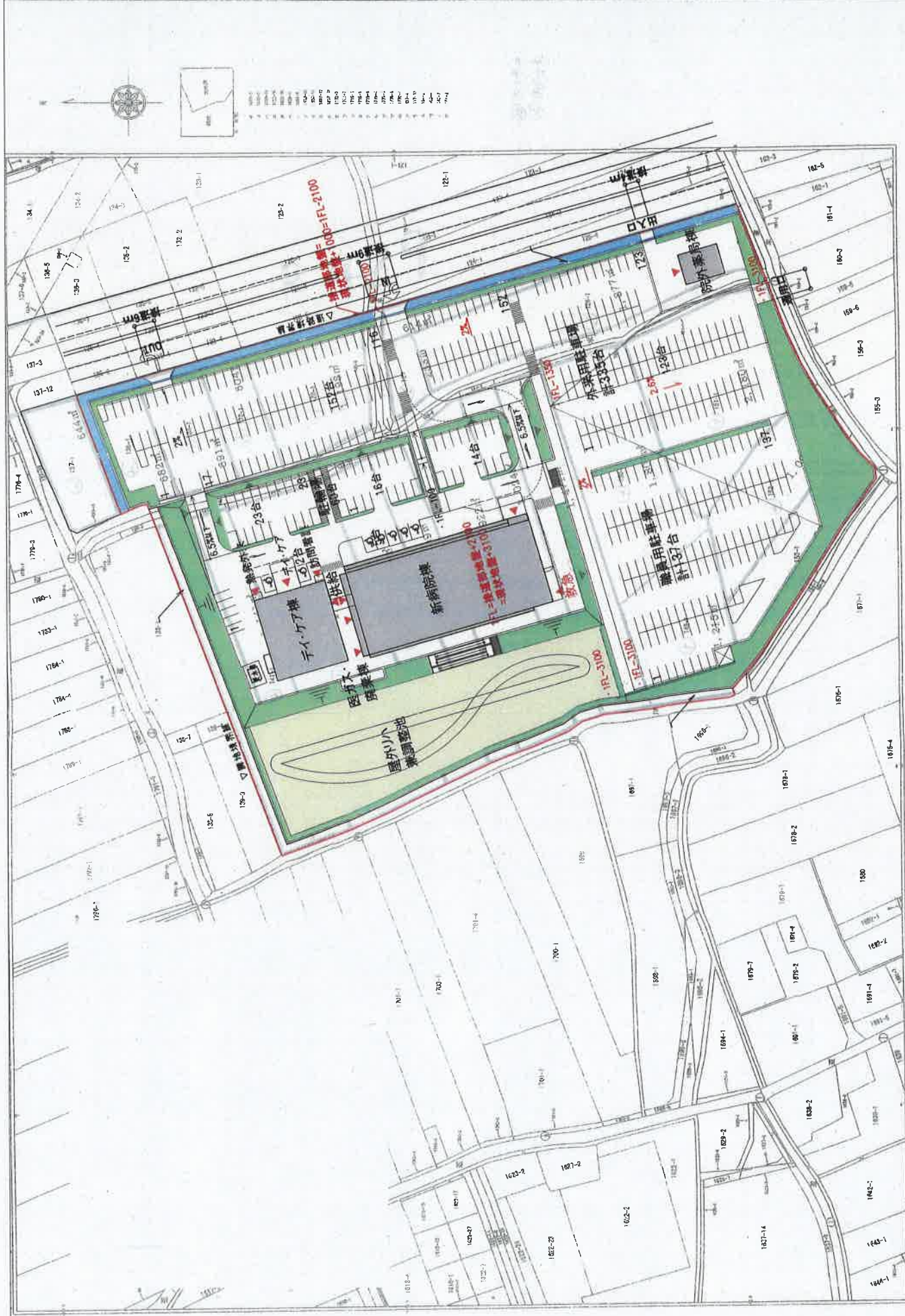
○住み続けるにあたって必要なこと



○将来望ましいまちのあり方



※出典：「第 2 次総社市総合計画 後期基本計画」策定のための市民アンケート結果



作成日付：平成31年 3月20日

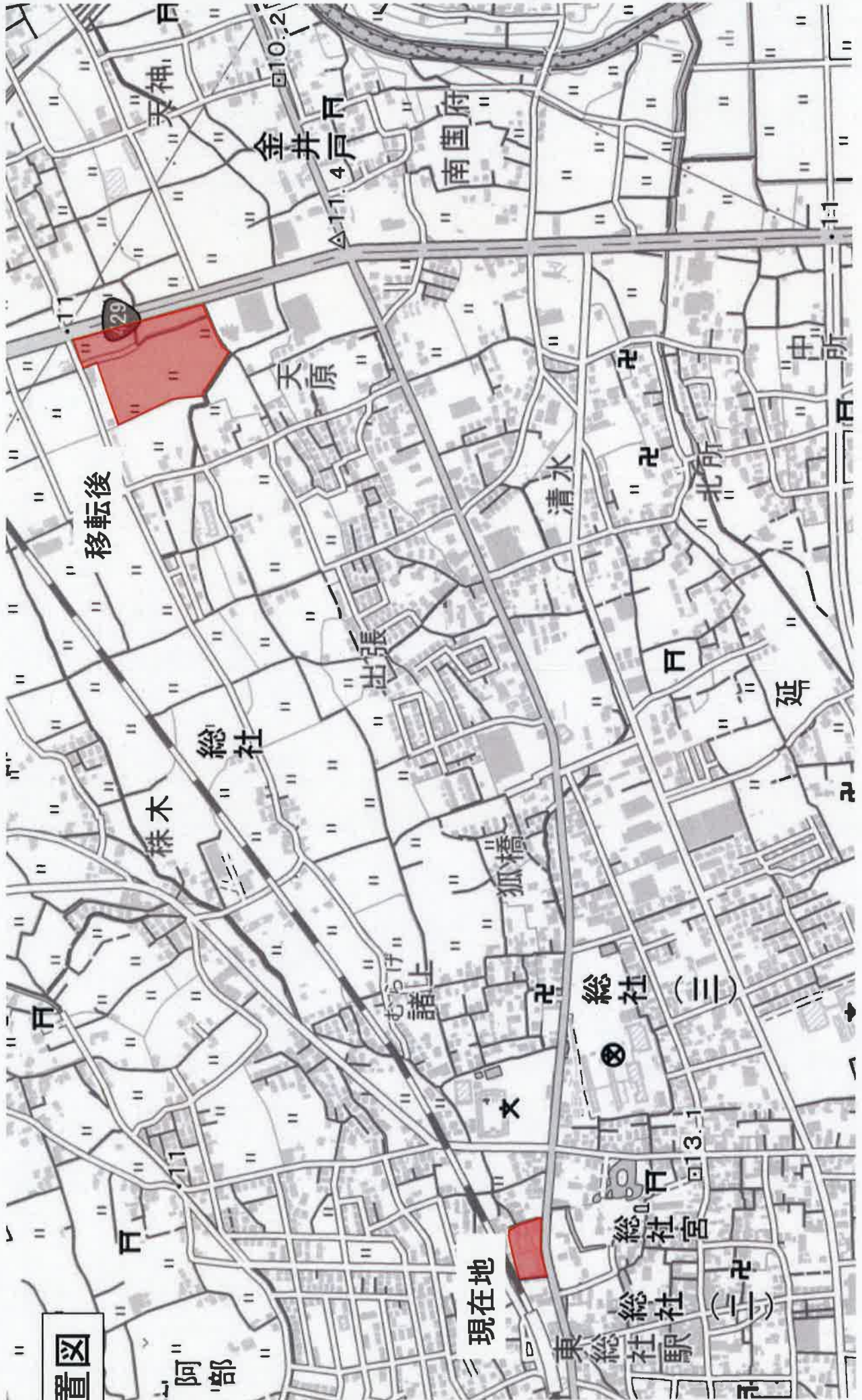
1 : 1000



この交付図（配置図）は、建設前での敷地状況を示した図面です。
 図中には、国土交通省等に認められた公衆（顧客）があります。
 敷地に所有する場合は、任意で建設費を分担していただきます。
 (建設費の負担割合)

長野病院移転新築計画 施設ボリュームスタディ

配置図 S-1/1300



置図

現在地

移転後

株木
総社

東
諸上
狐橋
総社(三)

総社宮

東
総社(二)

天神
金井戸

南園府

天原

清水

北所

出張

延

阿部

東
総社(一)

長野病院 (R3. 2月提案分)

議案 2

		③2025年 機能別病床数	
		H29年度病床機能報告 (H29.7.1)※ 国の調査時点	R2年度第2回地域 医療構想調整会議 (今回分) *書面表決
<p>①2025年を見据えた自医療機関の役割 (周囲の医療機関と適切な機能分化・連携が図れていること、一部の診療領域に特化しており引き続き急性期病床が必要であること等はこちらに記入)</p> <p>＜現状＞> 12診療科 (内科、外科、放射線科、リハビリテーション科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、血液内科、神経内科、消化器内科、消化器外科、整形外科) 許可病床数86床 (療養86床)</p> <p>・地域医療を守る拠点としての機能 ・地域包括ケアシステムでの役割 ・救急医療</p>	<p>②医療機能の方向性</p> <p>5 疾病・5 事業・在宅医療等で担う役割</p> <p>がん 心血管疾患 脳卒中 救急 小児 周産期 災害 へき地 研修派遣機能 糖尿病 精神疾患 在宅 その他</p> <p>・高度急性期病院からの患者を受け入れ、回復期機能を充実 ・近隣病院及び診療所との連携、機能分担</p>	高度急性期	0
		急性期	0
		回復期	0
		慢性期	86
		慢性期の内訳 地域包括ケア病床	86
		合計	86

